

遺伝研の大学院はなぜ良いのか

経済性（学費は年54万円弱）

所内に学生用宿舎があり、住居費は月々**1万円**程度



リサーチアシスタントとしての給料が年**70万円以上**もられます

研究者になるための専門教育

指導教員以外にプログ्रेस委員がいて、研究に対してアドバイスをもらえます



研究所なので、最先端の国際的な研究現場でしっかりと学ぶことができます

サポートが豊富

研究に必要なサポートや海外での成果発表に関する豊富なサポートを得られます



生活面でのきめ細やかなサポートがあります

学振DCにも多くの学生が採択されています

大学院に関する詳しい情報はこちら

<https://www.nig.ac.jp/nig/ja/phd-program/main-page-top/main-page>